

区政会議における意見への対応状況 (外部評価意見への対応方針)

[分類]

- ①当年度(2年度)において対応
- ②3年度運営方針に反映または3年度に対応予定
- ③3年度では対応できないが、今後引き続き検討
- ④対応困難または対応不可
- ⑤その他

番号	年月	会議	区政会議における意見	対応方針	分類	予算措置
1	R2.8	第1 心回 部安 会全 ・安	【防災について】 ・災害時、今回のコロナを考えると避難者が避難所に入りきれないことが考えられる。ローリングストックを含め、在宅避難などの広報を区役所としても、積極的にやっていただきたいと思う。(久保委員)	・ローリングストックなど家庭の備蓄や在宅避難等コロナ禍における新たな避難の方法を広報紙や区ホームページ等で周知してまいります。 【2年度具体的取組1-1-1、3年度具体的取組1-1-1】	①	2予算額 3,639千円 3算定見込額 1,482千円
2	R2.8	第1 心回 部安 会全 ・安	【防災について】 ・まちなか防災訓練のときに関わってくれる方がなかなかいない、地域防災リーダーになったもののなかなかそういう活躍する場がなかったという方もおられるので、いろいろと活動の機会を作っていたらと思う。(松尾(紀)委員)	・地域防災リーダー訓練・研修を実施し、スキルや知識を習得していただき、地域での防災訓練や小学校・中学校での防災訓練等で指導いただいております。 【2年度具体的取組1-1-1、3年度具体的取組1-1-2・1-1-3】	①	2予算額 1,770千円 3算定見込額 2,911千円
3	R2.8	第1 心回 部安 会全 ・安	【防犯について】 ・地域みまもり隊及び子ども110番の家の活動はたいへん良いと思うが、なかなか活動を知ることができない。掲示板や阿倍野区役所のホームページを見ないとわからないので、広報に力を入れていただきたいと思う。(松尾(紀)委員)	・区広報掲示板及びホームページに加え、twitter等も活用し、継続的に広報をしてまいります。 【2年度具体的取組1-2-1、3年度具体的取組1-2-1】	①	2予算額 1,643千円 3算定見込額 1,509千円
4	R2.8	第1 心回 部安 会全 ・安	【防犯について】 ・安まちメールで阿倍野警察が発行する情報は、地域でも発信はしているが、最近いろんな事件が子どもおよび高齢者に関して増えてきている感じがあるので、ぜひとも地域みまもり隊の方と連携しながら、見守る目を増やしていけたらと考えている。(松尾(紀)委員)	・防犯出前講座等について、さらに周知し、活用していただく中で、地域の方々との連携を進め、見守る目を増やしてまいりたいと考えております。 【2年度具体的取組1-2-1、3年度具体的取組1-2-1】	①	2予算額 1,643千円 3算定見込額 1,509千円
5	R2.8	第1 心回 部安 会全 ・安	【路上喫煙禁止について】 ・路上喫煙禁止エリアを外れて吸う方が増えており、たばこの吸い殻やごみが増えてきているのも意見として出てきている。地域の方がかなり努力をして収集してくれているが、次のステップとしてエリア外もとり上げていただけたらと思う。(松尾(紀))	・路上喫煙禁止地域における周知啓発に加え、エリア外においては、喫煙マナーの啓発や清掃活動を実施しています。引き続き、効果的な路上喫煙対策を検討してまいります。 【2年度具体的取組4-2-1、3年度具体的取組4-2-2】	①	2予算額 6,605千円 3算定見込額 6,537千円

番号	年月	会議	区政会議における意見	対応方針	分類	予算措置
6	R2.8	第1回安全・安心部会	<p>【防災について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域防災リーダーや地域役員も働いている方が多く、昼間に災害が発生した場合の救助活動・安生確認・避難所開設運営がとて組織としてできる状況にないと思います。地域女性に防災活動を担っていただきたいと思います。 ・コロナ禍における避難行動や在宅避難について広報する必要があります。(久保委員)〈ご意見シート〉 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域防災リーダーについては、働いている方も多く、地域におられない時に災害が発生することも考えられることから各地域の防災役員と意見交換やワークショップ等を行い、地域にとってよりよい体制の構築等の検討を地域とともに進めてまいります。 また、女性の視点を踏まえ、防災の取組みが重要と考えており、地域防災リーダーへ女性の登用についても働きかけてまいりたいと考えています。 コロナ禍における避難の方法については、広報あべの7月号、8月号で掲載しております。また、9月号でも在宅避難を含めた新たな避難の方法等の防災情報を発信します。今後も新たな避難について積極的に広報してまいります。 <p>【2年度具体的取組1-1-1、3年度具体的取組1-1-1・1-1-2】</p>	①	
7	R2.8	第1回安全・安心部会	<p>【防災について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちなか防災訓練も3~4回も参加したので充分理解出来たと思っている方が多いようです。又、住まい環境もマンション(集合住宅)住まいの方も多くなり避難の必要性が無くなった事からも不参加になった方が多いように考えられます。特に若い世代の不参加の要因と考えられます。 ・まちなか防災訓練も参加人数を求めず、防災組織の技能・技術の向上を図る事を目的とする。次世代の人材を継続的に育て共助体制を組織として整えていく事が急務です。 ・即戦力として在宅比率が高いシニア防災スタッフが必要である。団塊の世代75歳未満の方は各町会に沢山おられるので、シニア防災スタッフ(男性)は要援護者の支援活動。シニア防災スタッフ(女性・町会の女性部長)は、町会内の安否確認・避難所開設等の役割分担を明確しておく必要がある。(久保委員)〈ご意見シート〉 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練は、繰り返し実施することにより浸透し、災害時の迅速かつ的確な行動につながると考えています。まさに地域が自主的に実施するまちなか防災訓練は、災害時の備えや避難行動を繰り返し実施している取組みであると認識しています。また、集合住宅が増え、耐震性が高くなっているが、居室の防災対策は万全とは言えず、区役所では、マンション住民に対しても日ごろの備えについて、啓発を進めています。 ・各地域において、独自の訓練内容により工夫し技能・技術の向上を進めています。 ・地域の役割分担を明確にすることは重要であり、地区防災計画や避難所開設運営マニュアルに役割分担が記載されています。今後は、地域と連携し、ワークショップなどを行う中で地域の課題などを抽出し、地域防災活動の支援を進めてまいります。 <p>【2年度具体的取組1-1-1、3年度具体的取組1-1-1・1-1-2】</p>	①	2予算額 5,367千円 3算定見込額 4,338千円
8	R2.9	第2回安全・安心部会	<p>【防災について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障がいのある方や妊産婦の方などいろんな方が阿倍野区にお住まいになっています。誰もが安心できるまちということで障がいのある方などにとっては、福祉避難所が大事になると思います。区役所としてどう考えているのか。(松尾(紀)委員) 	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉避難所は、民間の福祉施設等の協力を得て、災害時において入所者等の安全確保を図りながら余力を活かして運営を担っていただくこととなります。阿倍野区内に10施設がありますが、不足することが考えられますので、引き続き民間施設へご協力を求め、拡充してまいりたいと考えております。また、各避難所に福祉避難室を設置する計画となっております。 <p>【2年度具体的取組1-1-1、3年度具体的取組1-1-1】</p>	①	2予算額 3,639千円 3算定見込額 1,482千円
9	R2.9	第2回安全・安心部会	<p>【防災について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住んでいる方だけではなく、働いている方や観光客など阿倍野区に多くいると思います。「安全・安心を未来につなぐまち」をつくる中で企業等との連携についてどう考えているのか。(松尾(紀)委員) 	<ul style="list-style-type: none"> ・阿倍野区独自の災害時協力事業所・店舗制度があり、企業等に登録をいただいているところです。 今後も連携を深め、活性化を図ってまいります。 <p>【2年度具体的取組1-1-1、3年度具体的取組1-1-2】</p>	①	
10	R2.9	第2回安全・安心部会	<p>【防災について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍において、災害が発生した場合に、医療との連携が重要と考えています。地域とのコロナ禍における避難所開設・運営研修や訓練の実施とありますが、地域でも医療との連携が必要であるがどう考えているのか。(松尾(紀)委員) 	<ul style="list-style-type: none"> ・医師会・歯科医師会・薬剤師会と阿倍野区災害対策本部と連携して医療救護本部設置運用訓練を実施しております。 また、医薬品のローリングストックを医師会、鉄道病院と連携して進めております。 <p>【2年度具体的取組1-1-1、3年度具体的取組1-1-2】</p>	①	2予算額 1,728千円 3算定見込額 2,856千円
11	R2.9	第2回安全・安心部会	<p>【自転車マナーについて】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ながらスマホ、無灯火等、自転車は規制があつてないようなものです。自転車マナーについてビデオを使った教育等ができないものではないでしょうか。(宮本委員) 	<ul style="list-style-type: none"> ・警察と連携して、マナー啓発を進めます。ビデオを使った教育についても、より充実させていけるよう検討してまいります。 <p>【2年度具体的取組1-2-2、3年度具体的取組1-2-2】</p>	①	2予算額 875千円 3算定見込額 660千円

番号	年月	会議	区政会議における意見	対応方針	分類	予算措置
12	R2.8	第1回福祉・健康づくり部会	【地域による見守り体制の充実】 ・集まらずにつながる方法をいろんな方面で模索されていると思うが、リモートといっても(認知症の方などは)なかなかZOOMもLINEもできない方が多いので取り入れることが難しいし、電話だけでつながるというのも難しいと思うので、なにか感染を予防してできるような取組みはないかと思う。(中村委員)	・新型コロナウイルス感染症の流行が社会全体に非常に大きな影響を与え、これまでの生活スタイルや人々の考え方も変化しました。このような非常事態やその他の困難に直面した時にも人と人がつながり合い、地域で支え合い、誰もが幸せに暮らせるまちをめざし、令和3年度からの阿倍野区将来ビジョンや地域福祉計画にも反映しながら地域福祉の推進に努めてまいります。 【2年度具体的取組3-1-1、3年度具体的取組3-1-1】	①	
13	R2.8	第1回福祉・健康づくり部会	【地域による見守り体制の充実】 ・若年性認知症の方を早期発見することは難しいので、こういうコロナの状況の中で、生活が困っているということが噴出しているこの機にできるだけキャッチするようなことも必要と思う。(中村委員)	・認知症の早期発見、初期対応を促進するため、認知症診療・ケアの経験豊富な意思と、医療・介護福祉の専門職で構成する認知症初期集中支援チーム「あべのオレンジチーム」とも連携し、地域の見守り体制の充実に努めてまいります。 【2年度具体的取組3-1-1、3年度具体的取組3-1-1】	①	2予算額 36,428千円 3算定見込額 36,425千円 (※うち20,454千円は福祉局 予算事業【区CM自由経費】 3算定見込額 36,425千円 (※うち20,454千円は福祉局 予算事業【区CM自由経費】)
14	R2.8	第1回福祉・健康づくり部会	【地域による見守り体制の充実】 ・長年、民生委員をやっている、いろいろな地域の方々から苦情などを寄せられるが、地域包括支援センターができてからは連絡を取り合っただけで動いていただいで、問題を解決していただいている。たいへん助かっている。(前島委員)	・地域包括支援センターでは、高齢者が住み慣れた地域で安心してその人らしい生活が続けられるように、専門資格を有する職員が行政や医療、介護、福祉、地域などの関係機関と連携協力しています。 今後も民生委員の皆さまを始めとした地域の関係機関と協力しながら、高齢者支援の取組みを進めてまいります。 【2年度具体的取組3-1-1、3年度具体的取組3-1-1】	①	
15	R2.8	第1回福祉・健康づくり部会	【地域による見守り体制の充実】 ・地域福祉コーディネーターについて、一生懸命活動をやっておられるので、昔の民生委員だけで活動に取り組んでいたときよりも、連絡を密に取り合っただけで活動がたいへん活発になっているのではないかと考えている。(前島委員)	・地域福祉コーディネーターは、困りごとの相談や支援の必要な人への見守り体制を築くために、地域のアンテナ役、つなぎ役として行政をはじめ各種団体や専門職、ボランティアと連携して地域福祉活動の推進を図っています。 今後も民生委員の皆さまを始めとした地域の関係機関と協力しながら、地域福祉活動の取組みを進めてまいります。 【2年度具体的取組3-1-1、3年度具体的取組3-1-1】	①	
16	R2.8	第1回福祉・健康づくり部会	【がん検診について】 ・集団がん検診の応募が縮小しすぐに定員に達しているという問題について、それを医療機関に回しているという問題について、それを医療機関に回しているという問題について、健康診断についても、私ども事業所の受入態勢がすごく厳しい状態になっている。医療機関に回すといっても現実的には厳しい問題だと思っておりますので考えていただきたい。(山崎委員)	・本年度においては、集団健診の中止、また再開後も三密防止のため、定員を半減とするなどにより受検機会が減少しております。このような状況の中、受検機会を確保するため、区民の皆さまには、本市が委託している検診実施医療機関での受検をご案内しているところでございます。 【2年度具体的取組3-2-1、3年度具体的取組3-2-1】	①	2予算額 228千円 3算定見込額 182千円
17	R2.8	第1回福祉・健康づくり部会	【新型コロナウイルス感染症について】 ・新型コロナウイルス感染症対策で、東京がこの何日間か取り組んでいる行動が報道されていたが、東京の医師会が区といっしょになってPCR検査をたくさん実施していることになっている。それは区の予算でやっていると思うし、国とか東京都の予算ももらうと思うが。そういった区の方針がなければ何も動かないと思う。阿倍野区でも全区民がPCR検査を受けることができる方針をしっかりと出してもらいたいと思っている。(北村委員)	・9月に厚生労働省より各都道府県等に対して「次のインフルエンザ流行に備えた体制整備について」事務連絡があり、季節性インフルエンザ流行に備えて、発熱患者等が、帰国者・接触者相談センターを介することなく、かかりつけ医等の地域で身近な医療機関等に相談・受診し、必要に応じて検査を受けられる体制について、本年10月中をめどに都道府県が整備に取り組むよう依頼しています。 これに基づき、大阪府は10月8日付けで、発熱患者が、かかりつけ医等においてスムーズに受診が可能となる体制を構築することを目的として、「診療・検査医療機関」を指定するため、府内に所在する全ての医科診療所に対して調査を実施しています。「診療・検査医療機関」は、「発熱患者の相談対応・診療」「新型コロナとインフルエンザ両方の検査」の全てが可能な医療機関です。 当区といたしましては、このような体制整備の今後の状況一特に区内医療機関の「診療・検査医療機関」の指定状況等を注視しながら、必要に応じて区ホームページ等を通じて、区民の皆さまへの情報提供に努めてまいりたいと考えております。	①	2予算額 1千円 3算定見込額 1千円

番号	年月	会議	区政会議における意見	対応方針	分類	予算措置
18	R2.8	第1回福祉・健康づくり部会	【地域活動への参加について】 ・新しい地域の活動の担い手となる人たちがどう増やしていくか。阿倍野の魅力をどう伝え、参加意識を強めていくか、またそのための条件づくりなど、この時期にこそ考えねばと思います。(永岡委員)〈ご意見シート〉	・地域活動協議会をはじめ地域活動については、区ホームページや広報紙、転入者へお渡しする転入パックへのちらしで啓発を行っており、今後は窓口サービス課(保険年金)において定年退職者等に対して案内することを予定しています。 各地域活動については、阿倍野区が委託している行政と地域の中間支援組織「まちづくりセンター」の支援もあり、全地域において広報紙等を作成し地域内の住民に配布していることや、ホームページ、Facebook等を活用し地域活動の啓発を行っております。 今後もきめ細やかな周知に努め、地域とも連携しながら、取組みを進めてまいります。 【2年度具体的取組4-1-3、3年度具体的取組4-1-3】	①	2予算額 14,118千円 3算定見込額 14,170千円
19	R2.9	第2回福祉・健康づくり部会	【要援護者名簿について】 ・災害時における要援護者への支援について、要援護者の名簿が金庫に入っており、鍵を持っている3名しか開けることができない。実際に災害時において要援護者名簿をどうやって活用するのか疑問があるので、実際にあった支援を考えていただきたい。(山崎委員)	・阿倍野区としても、その活用は重要な課題と認識しております。具体的な活用方法は活用主体となる地域で決定される事項であるため、地域での話し合いについて、阿倍野区社会福祉協議会とともに支援してまいります。 【2年度具体的取組3-1-1、3年度具体的取組3-1-1】	⑤	2予算額 36,428千円 3算定見込額 36,425千円 (※うち20,454千円は福祉局 予算事業【区CM自由経費】 3算定見込額 36,425千円 (※うち20,454千円は福祉局 予算事業【区CM自由経費】
20	R2.9	第2回福祉・健康づくり部会	【地域における福祉活動の主体について】 ・住民主体の地域課題の解決力強化について、誰が責任をもって実行しようとするのかがないとなかなか進まないのではないかと思います。 また、地域における見守り活動の充実についても、誰がするのかというもう少し細かいところまで考えて進めていくべきではないかと思う。(山梨委員)	・平成25年度から、「あべの 安全・安心 見守り、支え合い隊事業」を区の独自事業として取り組んでいます。 区内10地域ごとに地域の状況に精通した「地域福祉コーディネーター」を配置し、要援護者名簿への登録やボランティア活動の推進、ボランティアの発掘・育成、地域で実施している各種事業を地域の関係機関と連携し、地域住民のつながりづくりのための活動を行っています。 【2年度具体的取組3-1-1、3年度具体的取組3-1-1】	①	
21	R2.9	第2回福祉・健康づくり部会	【地域福祉計画について】 ・区だけではどうしようもない点だが、生活困窮に対して生活基盤をどう支えられるのか、どうサポートしていくのかということと、コロナ禍でのつながりをどう作っていくのかということがある。ぜひ、今の状況で解決できるところをやりながら、計画を推進してほしい。(永岡委員)	・新型コロナウイルス感染症の流行が社会全体に非常に大きな影響を与え、これまでの生活スタイルや人々の考え方も変化しました。このような非常事態やその他の困難に直面した時にも人と人がつながり合い、地域で支え合い、誰もが幸せに暮らせるまちをめざし、令和3年度からの阿倍野区将来ビジョンや地域福祉計画にも反映しながら地域福祉の推進に努めてまいります。 【2年度具体的取組3-1-2】	①	
22	R2.9	第2回福祉・健康づくり部会	【地域福祉計画について】 ・令和3年度からの新しい計画について、もう少しインパクトのある、具体性のある計画になってほしい。 コロナ禍における対応については、集まらないでつながっていく方法とか具体的な方策を活かしてほしい。(中村委員)			2予算額 243千円 3算定見込額 232千円
23	R2.9	第2回福祉・健康づくり部会	【地域での福祉活動について】 ・地域では、ほぼ同じメンバーが高齢化する中、ボランティアで頑張ってくれているという状況です。なかなか新しい人が入ってきて活動してもらおうというのも難しい状況にあるのではないかと思います。 次の世代にどうつなげていくかということで、本当にこの支援体制をどのように充実していただけるのかと思っているので、そのためにも様々な地域の声というものをお願いさせていただき場も作っていただきたいと思う。(辰嵐委員)	・わいわいトークや地区懇談会等の意見交換会を開催し、地域課題に対する様々な意見を聞き、検証を行い、取組みを推進してまいります。また、地域福祉イベント等における広報活動を行います。 【2年度具体的取組3-1-2】	①	

番号	年月	会議	区政会議における意見	対応方針	分類	予算措置
24	R2.9	第2回福祉・健康づくり部会	【高齢者の介護予防について】 ・コロナ禍において集まらないでつながる具体的な方策が必要。(中村委員) ・アフターコロナのころに要介護高齢者が増えるのではないかと。(岡島委員)	・現在、阿倍野区社会福祉協議会の生活支援体制整備事業において、3か所の地域包括支援センター、及び専門職である理学療法士とともに「体操DVD」の作成を準備されています。個人、少人数で身近につながりながら、椅子に座った体操、お口の体操を取り入れる予定であり、区役所としても作成に協力させていただいております。 【2年度具体的取組3-2-1、3年度具体的取組3-2-1】	①	2予算額 228千円 3算定見込額 182千円
25	R2.9	第2回福祉・健康づくり部会	【かかりつけ医の利用について】 ・保健所や大阪府などの新型コロナウイルス感染症の相談窓口がなかなかつながらない。お年寄りには情報がないから困ると思います。かかりつけ医だと名前を言うだけで意思が伝わるので、「かかりつけ医を窓口として新型コロナ関係の相談ができます」という流れを実現してもらいたい。(北村委員)	阿倍野区として、8月より区医師会を通じて、区内医療機関に対して、発熱等の疑似症患者の診療の可否、及びその可否の区民への情報提供についてアンケート調査を実施し、区民の皆さまに医療機関の情報を提供していく準備を進めておりましたが、9月4日に厚生労働省より各都道府県等に対して「次のインフルエンザ流行に備えた体制整備について」事務連絡がありました。 そのなかで、インフルエンザ流行に備えて、発熱患者等が、帰国者・接触者相談センターを介することなく、かかりつけ医等の地域で身近な医療機関等に相談・受診し、必要に応じて検査を受けられる体制について、本年10月中をめどに都道府県が整備に取り組むよう依頼しています。 これに基づき、大阪府は10月8日付で、発熱患者が、かかりつけ医等においてスムーズに受診が可能となる体制を構築することを目的として、「診療・検査医療機関」を指定するため、府内に所在する全ての医科診療所に対して調査を実施しています。「診療・検査医療機関」は、「発熱患者の相談対応・診療」「新型コロナとインフルエンザ両方の検査」の全てが可能な医療機関であり、指定された医療機関は同意の有無を確認のうえ、府ホームページ等で原則公表されるということです。 委員からご意見をいただき、阿倍野区として準備を進めておりました「かかりつけ医を窓口とした相談・診療」の区民への情報提供の取組みが、新型コロナウイルスの検査も含め拡充された形で、全国的に体制整備の準備が進められています。 当区といたしましては、このような体制整備の今後の状況一特に区内医療機関の「診療・検査医療機関」の指定状況等を注視しながら、必要に応じて区ホームページ等を通じて、区民の皆さまへの情報提供に努めてまいりたいと考えております。	①	2予算額 1千円 3算定見込額 1千円
26	R2.9	第2回福祉・健康づくり部会	【高齢者層への健康機運を高める働きかけについて】 ・75歳以上の高齢者に特化したフレイル検診の15項目質問票を幅広い高齢者層に活用してはどうか。(岡島委員)	・大阪市としても、令和2年4月～後期高齢者医療健康診査受診票に質問項目は取り入れられており、今後、データを蓄積し、活用検討予定と聞いております。 また、現在、フレイル検診質問票と類似した「基本チェックリスト」を、65歳以上の高齢者に対して様々な機会をとりえて実施し、介護予防への取組みが必要な生活機能の低下がみられる高齢者を把握し、必要な支援につなげています。	⑤	2予算額 1千円 3算定見込額 1千円
27	R2.9	第2回福祉・健康づくり部会	【高齢者のコロナ感染予防について】 ・唾液量を増やし、口腔内を清潔に保つため、かみかみ百歳体操を高齢者の自宅で実施できるよう施策として取り組んではどうか。(北村委員)〈ご意見シート〉	・現在、阿倍野区社会福祉協議会の生活支援体制整備事業において、3か所の地域包括支援センター、及び専門職である理学療法士とともに「体操DVD」の作成を準備されています。個人、少人数で身近につながりながら、椅子に座った体操、お口の体操を取り入れる予定であり、区役所としても作成に協力させていただいております。 【2年度具体的取組3-2-1、3年度具体的取組3-2-1】	①	2予算額 228千円 3算定見込額 182千円

番号	年月	会議	区政会議における意見	対応方針	分類	予算措置
28	R2.8	第1回まちづくり部会	【人と人とのつながりの推進について】 ・今年度はコロナ禍により、集客の事業から動画を配信する予定となっているが、動画はどのような内容になるのか。(平尾委員、二家委員)	・「あべのカーニバル」、「あべのスポーツフェスタ」については、受託業者である大阪市コミュニティ協会阿倍野区支部協議会と動画の内容等を調整し、例年現地開催している時のステージの発表や、各種団体紹介等の動画配信を行っております。 【2年度具体的取組4-1-1、3年度具体的取組4-1-1】	①	2予算額 9,051千円 3算定見込額 9,051千円
29	R2.8	第1回まちづくり部会	【人と人とのつながりの推進について】 ・カーニバル動画配信における出演者の事前練習時に、三密にならないかと危惧している。(高市委員)	・出演者の撮影にかかる練習等については、三密にならないように無理のない範囲で各出演団体へ依頼を行いました。 【2年度具体的取組4-1-1、3年度具体的取組4-1-1】	①	
30	R2.8	第1回まちづくり部会	【新たな地域コミュニティ支援事業】 ・コロナ禍により、集客型事業「ほっとカフェ」のスタイルを変更し、オンラインを使用した「ほっとカフェ～オンライン～」を開催しているが、そのようなオンライン化の取組みの必要性を感じている。(高市委員)	・コロナ禍により、各種集客型事業をオンライン会議やオンライン講演会へと内容の変更を行っております。今後も事業の開催方法など検討を行ってまいります。 【2年度具体的取組4-1-3、3年度具体的取組4-1-3】	①	2予算額 14,118千円 3算定見込 14,170千円
31	R2.8	第1回まちづくり部会	【路上喫煙禁止について】 ・路上喫煙禁止地区について、表通りであるあべの筋は吸い殻はほとんど無く、きれいになっているが、裏通りは逆に汚れてきている。今後、幅を広げるなど検討が必要。(高岡委員)	・路上喫煙禁止地域における周知啓発に加え、エリア外においては、喫煙マナーの啓発や清掃活動を実施しています。引き続き、効果的な路上喫煙対策を検討してまいります。 【2年度具体的取組4-2-1、3年度具体的取組4-2-2】	①	2予算額 6,605千円 3算定見込額 6,537千円
32	R2.8	第1回まちづくり部会	【路上喫煙禁止について】 ・検討会委員として以前からこの事業に関わっているが、路上喫煙禁止地区の制定をよく取りまとめたと評価している。少し気になることは、タイミングもあるのだが、指導員を1回も見ることが無い。活動しているというアピールも必要である。(横井委員)	・周知等の啓発、清掃活動時において、指導員と連携できるよう環境局等調整を進めていきます。 【2年度具体的取組4-2-1、3年度具体的取組4-2-2】	②	

番号	年月	会議	区政会議における意見	対応方針	分類	予算措置
33	R2.8	第1回まちづくり部会	【自治会・町会加入の記事掲載について】 ・自治会・町会加入について、「広報あべの」へ毎月号の1面に啓発記事を掲載していただいているが、前年度と比べて、今年度は記事が小さくなっているように感じられる。(高岡委員)	・区の広報紙は、年間を通じた広報計画をもとに、その月の情勢や関係機関からの掲載希望などの状況に応じて、掲載の有無や記事の量を決めています。今後も区民の皆さまに必要な区政情報を発信し、読みたくなる広報紙をお届けできるように努めます。 【2年度具体的取組5-1-1、3年度具体的取組5-1-2】	①	
34	R2.8	第1回まちづくり部会	【区の広報事業について】 ・区役所のLINEの内容と入り方を教えていただきたい。あと、コロナ禍により新しい形による事業等が開催されているが、オンラインを活用することが難しい特に高齢者等のフォローが必要である。(上川委員)	・区役所のLINEでは子育てや防災の情報を主に発信しております。広報紙最終面下部でアカウントおよび二次元コードを毎月掲載しており、インターネットの利用できる環境であればここから区役所のLINEの登録ができます。また、広報紙(全戸配布)や区広報掲示板によって情報を発信することで、インターネットを利用する環境にない方に対しても引き続き情報提供してまいります。 【2年度具体的取組5-1-1、3年度具体的取組5-1-2】	①	2予算額 19,781千円 3算定見込額 21,333千円
35	R2.8	第1回まちづくり部会	【区の広報事業について】 ・コロナ禍により、オンラインやSNSの必要性を感じている。一員である「あべのつて」のSNSにおいても閲覧数も増えており、問い合わせが多い状態である。(岡本委員)	・今後も引き続き、区ホームページ、twitter、LINE、YouTubeなどで迅速な情報発信を行ってまいります。 【2年度具体的取組5-1-1、3年度具体的取組5-1-2】	①	
36	R2.8	第1回まちづくり部会	【区役所駐車場の有料化について】 ・前回からの持ち越し議案として、区役所駐車場の有料化があった。現在の状況は。(上川委員)	・区役所駐車場の有料化につきましては、昨年度の区政会議において、区政会議委員の皆さまからさまざまな、ご意見をいただき、区役所内でも議論をさせていただいております。 現在のコロナ禍で、「密」を避けるために車での来庁者もおられると思われることから、駐車場有料化については、一度、引きあげさせていただき、区役所を取り巻く状況等を考慮し、今後も引き続き論点整理を行いながら、研究・検討してまいりたいと考えております。	⑤	2予算額 — 千円 3算定見込額 — 千円
37	R2.8	第1回まちづくり部会	【区の広報事業について】 ・様々なチラシ・案内等を特に若い世代の方々等にももっと周知していけたらいいのではないかと。あまり関心をもっていない区民や若者には届いていないのではないかと。(平尾委員)〈ご意見シート〉	・区からの情報発信ツールとしては、広報紙(全戸配布)、広報掲示板、ホームページ、twitter、YouTube、LINE、庁内モニター放映があります。広報紙の記事からtwitterやホームページへ誘導する、健診やイベント会場等で案内するなど、これらの情報発信ツールの周知活動も継続してまいります。 【2年度具体的取組5-1-1、3年度具体的取組5-1-2】	①	2予算額 19,781千円 3算定見込額 21,333千円

番号	年月	会議	区政会議における意見	対応方針	分類	予算措置
38	R2.9	第2回まちづくり部会	【地域の自主的なまちづくりの活動支援・促進について】 ・コロナ禍でいろいろなイベントが中止になっているが、「あべのカーニバル」、「あべのスポーツフェスタ」、「つながりフェスタ」等各種イベントは中止になっただけでなく、動画の配信や、各種団体、施設やグループを紹介する動画を作成し公開するというので、ただ単に中止にただけではなく工夫されているので感心している。(高市委員)	・「あべのカーニバル」、「あべのスポーツフェスタ」については、受託業者である大阪市コミュニティ協会阿倍野区支部協議会と動画の内容等を調整し、例年現地開催している時のステージの発表や、各種団体紹介等の動画配信を行っております。 【2年度具体的取組4-1-1、3年度具体的取組4-1-1】	①	2予算額 9,051千円 3算定見込額 9,051千円
39	R2.9	第2回まちづくり部会	【地域の自主的なまちづくりの活動支援・促進について】 ・「コミュニティづくりの形成を目的に全区民を対象に、地域活動団体等と協働しながら誰もが楽しめる交流の場を提供します」の誰もが楽しめる交流の場とは例えばどのようなものを想定しているのか。(平尾委員)	・コミュニティ育成事業において、「あべのカーニバル」、「あべのスポーツフェスタ」、「成人の日記念のつどい」、「小学生たこあげ大会」の4事業と、受託事業者の提案事業である「小学生の相撲大会」等の事業を想定しており、事業に参加の様々な方がそれぞれ交流をしていただくことを想定し事業を実施しております。 【2年度具体的取組4-1-1、3年度具体的取組4-1-1】	①	
40	R2.9	第2回まちづくり部会	【地域の自主的なまちづくりの活動支援・促進について】 ・コロナ禍において、区内10地域の地域活動協議会の役員だけでも事業の方法等の意見交換の場があれば良いと思う。(二家委員)	・今後開催予定の「地活協フォーラム」等において、各地域の事業の事例の共有を行う予定となっております。また、市内でもほぼ全ての地域が同じ悩みを抱えており、区長会議等でも議題になっています。そうした中で各区、各地域でどのような先進的な事例、工夫した事例について現在項目を出し合っており、その情報を市で取りまとめを行っていますので、今後各地域へも情報提供を行ってまいります。 【2年度具体的取組4-1-3、3年度具体的取組4-1-3】	①	2予算額 14,118千円 3算定見込 14,170千円
41	R2.9	第2回まちづくり部会	【地域の自主的なまちづくりの活動支援・促進について】 ・地域活動で、新たな担い手の人材不足等の課題はよく言われているが、幅広く地域の活動団体や事業者が連携して総事業化していくことが課題の解決につながるのではないかと。(岡本委員)	・引き続き、「あべのほっとカフェ事業」等地域と各種地域団体や事業者の連携するきっかけとなる事業を開催してまいります。 【2年度具体的取組4-1-3、3年度具体的取組4-1-3】	①	
42	R2.9	第2回まちづくり部会	【誰もが自慢したくなる魅力あるまちづくりについて】 ・「区内の魅力資源を『あべのブランド』として、積極的にアピールする」は魅力的な言葉だが、具体的に「あべのブランド」というのはどのようなものを想定しているのか。(上川委員)	・「路面電車の走るあべの筋」、「阿倍野七坂」等、これまで都市景観資源として指定させていただいている33カ所、「経塚」、「阿部野神社」等の歴史スポットが28カ所あり、これらを今回改めて、「あべのブランド」と位置づけております。 【3年度具体的取組4-2-1】	①	2予算額 918千円 3算定見込額 1,478千円
43	R2.9	第2回まちづくり部会	【区民ニーズの的確な把握と区政情報の効果的な発信について】 ・区民のニーズを的確に把握するというのが非常に難しいのではないかと。本当に必要な方に必要なサービスはどのようにしたら届くかというような、そのような把握というのは個別の聞き取りだけではなく一人ひとりの区民の声を聞く機会というのはなかなか難しいので、どのようにしていくというのが課題である。(高市委員)	・区民への説明責任を果たしていくとともに、いただいたご意見を施策へ反映させることを目的として、区役所に設置しているご意見箱や区ホームページなどにおいて、区政に関する意見・アイデア・要望等を常時受け付けています。また、区の施策や事業などについての意見やニーズを把握し、区民の客観的な評価を得るなど、施策立案にかかる基礎データを収集するために、無作為抽出した4,000人を対象に区民モニターアンケートを実施しています。 【2年度具体的取組5-1-2、3年度具体的取組5-1-1】	①	2予算額 3,130千円 3算定見込額 6,070千円

番号	年月	会議	区政会議における意見	対応方針	分類	予算措置
44	R2.9	第2回まちづくり部会	<p>【区民ニーズの的確な把握と区政情報の効果的な発信について】</p> <p>・「区政情報の収集手段としてはインターネットの利用率が低い状況」とあるが、なぜインターネットの利用率が低いのか分析はしているのか。(上川委員)</p>	<p>・インターネットの利用できる環境にある方も、区政情報の収集手段として広報紙を利用されています。インターネットを利用するには通信や機器に費用負担が発生することあることから、まずは全戸配布している広報紙を充実させ、合わせてホームページやSNSも工夫して区政情報を発信していくことが重要だと認識しています。</p> <p>【2年度具体的取組5-1-1、3年度具体的取組5-1-2】</p>	①	<p>2予算額 19,781千円</p> <p>3算定見込額 21,333千円</p>
45	R2.9	第2回まちづくり部会	<p>【区民サービスのさらなる向上について】</p> <p>・「利便性の高いサービスを提供できるよう、オンライン化を進める」のオンライン化という言葉はすごく響きがいいが、実際窓口でオンライン化というのはどこまで何ができるのか分からない。(上川委員)</p>	<p>・大阪市では令和2年8月より、大阪市への各種行政手続きやイベントの申込みなどを行うことができる「大阪市行政オンラインシステム」の運用を開始し、「住民票の写しの交付請求」や「水道使用開始・中止申込」などの手続きをオンラインで行うことができます。今後もオンラインで行える手続きは拡大する予定です。</p> <p>阿倍野区においても、区民の利便性を向上させるため、大阪市の方針に沿って行政手続きのオンライン化を進めるなど、区民にとってわかりやすく利用しやすい窓口の実現に取り組んでまいります。</p> <p>【3年度具体的取組5-2-1】</p>	⑤	<p>2予算額 — 千円</p> <p>3算定見込額 — 千円</p>